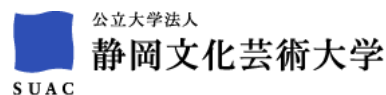


オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
「ブラジル・パラリンピックアスリート
(陸上競技) リモート交流」
浜松市立砂丘小学校での実施 について



公立大学法人

静岡文化芸術大学

SUAC

令和2年11月26日

静岡文化芸術大学 地域連携室

【電話】(053)457-6105

オリパラ教育浜松市内大学連携協議会（静岡文化芸術大学を含む市内5大学で構成）では、市内の小・中学生とブラジルのパラリンピック選手とのリモート交流を実施しています。

先導的共生社会ホストタウンの認定を受けており、来夏の東京パラリンピックでブラジル選手団の事前合宿を受け入れる浜松市において、東京オリンピック・パラリンピック大会への機運醸成を図ることを目的としています。ぜひ取材をよろしくお願ひします。

なお、当交流事業は市内では2校目となります。(11/19 西小学校で実施済)

記

日時： 令和2年12月1日(火) 9:25~10:10

場所： 浜松市立砂丘小学校 体育館(南区白羽町2512)

参加者： 砂丘小学校 1~6年生(計79人)

実施方法： 体育館に全校児童が集まり、ブラジルのパラ選手2名とZoomを活用したリモート交流。児童から選手への質問、ポルトガル語による簡単な挨拶や激励を行う。

交流選手：

①Petrucio Ferreira (ペトリュシオ フェレイラ選手) 24歳

(1)障害について

左手の欠損(後天性) クラス T47(※1)

(2)目標

東京2020パラリンピックでメダルを獲得する。

(3)スポーツを始めたきっかけ

2歳の時、研削盤での事故で左腕を失くした。
学校のフットサルチームに所属しているときに
才能を見出され、2013年に本格的に陸上競技を始めた。



(4)受賞歴

2016リオパラリンピック 男子100mT47 【Men's 100 m T47】1位(金メダル) ほか

②Raissa Rocha(ハイサ ホシャ選手) 24歳

(1)障害について

関節可動域の障害(先天性) クラス T54, F56(※1)

(2)モットー

身体に障害があるからといって、行きたい場所に行けないというわけではない。

(3)スポーツを始めたきっかけ

彼女はブラジルのウベラバで13歳から陸上競技を始めた。
陸上競技のほかに体操競技も行っていたが、コーチから陸上競技に集中した方がいいと言われ、現在に至る。



(4)受賞歴

2016リオパラリンピック 女子やり投げ F56 【Women's Javelin F56】6位 ほか

【問合せ先】 静岡文化芸術大学 地域連携室 宮野、岡田 Tel.053-457-6105